

令和  
元年度

# 西尾市の決算の概要

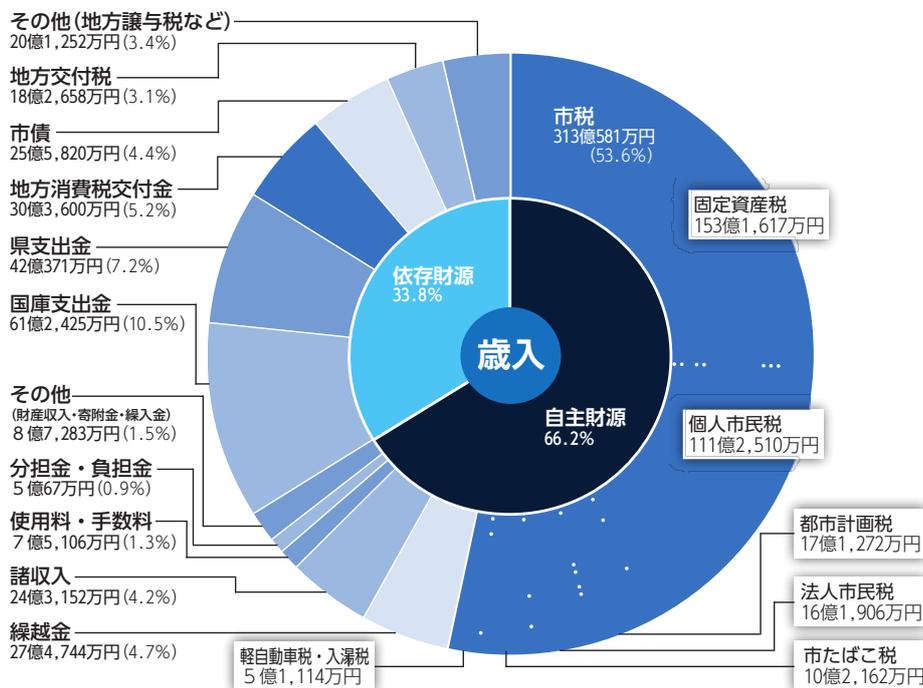
問財政課 (☎65・2166)

令和元年度の決算の概要をお知らせします。  
決算は、皆さんが納めた税金や、国・県からの補助金などが、まちづくりにどのように使われたのかをまとめたものです。

## 一般会計歳入

一般会計とは、福祉・教育・土木など市の行政運営の基本的な経費を網羅した会計

市に入ったお金は**583億7,059万円**



## 特別会計・企業会計の決算

### 特別会計

国民健康保険や公共下水道事業など、一般会計とは別に独立した経費管理が行われる会計

会計名	歳入	歳出	一般会計からの繰入額
国民健康保険	158億 902万円	154億 646万円	10億2,145万円
公共下水道事業	31億6,082万円	30億9,370万円	14億9,521万円
農業集落排水事業	5億4,799万円	5億 12万円	3億4,264万円
介護保険	119億1,249万円	112億7,521万円	17億2,016万円
後期高齢者医療	20億3,088万円	20億2,178万円	3億 76万円
佐久島診療所事業	4,142万円	3,263万円	800万円

### 企業会計

地方公営企業法の適用を受け、市が経営する公営企業の会計

会計名	歳入	歳出	一般会計からの繰入額
病院事業	収益的収入 77億8,963万円	収益的支出 86億8,618万円	16億7,052万円
水道事業	収益的収入 35億 683万円	収益的支出 29億3,041万円	83万円
渡船事業	収益的収入 1億9,856万円	収益的支出 1億6,548万円	215万円



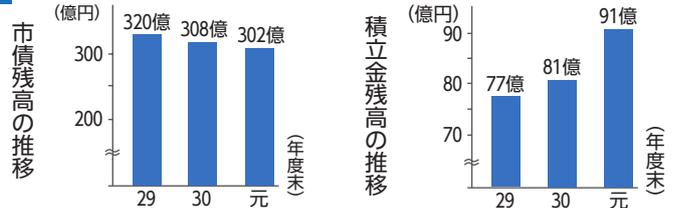
## 財政力指数

財政力指数とは、標準的な行政サービスを行うために必要な財源を、どれだけ自力で調達できるかを示す指標。1を超えていれば財源に余裕があるといえます。

年度	単年度 (3か年平均)
29年度	0.982 (0.982)
30年度	0.972 (0.976)
元年度	0.996 (0.983)

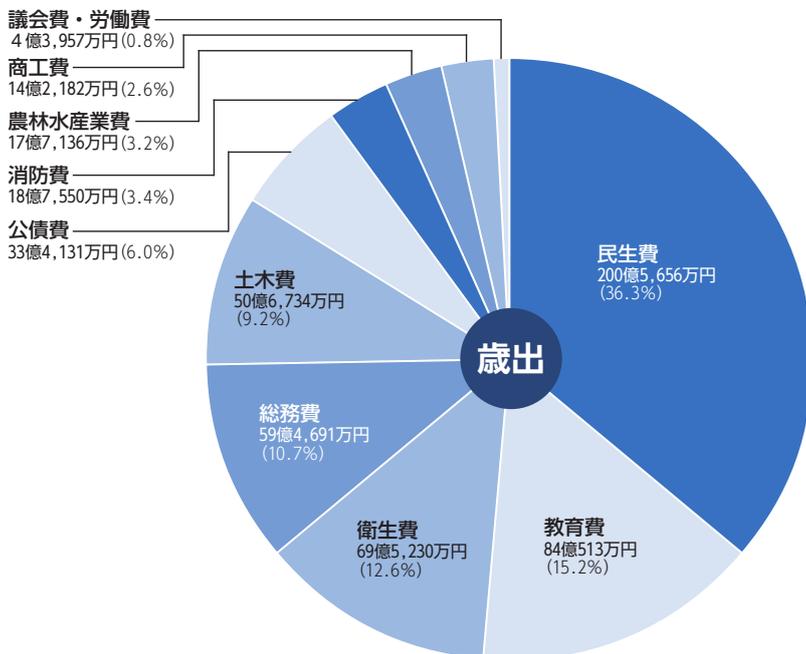
## 市債・積立金残高

令和元年度末時点で財政調整基金(約68億)など12基金を設置



## 一般会計歳出

市が使ったお金は**552億7,780万円**



### 市民1人当たり置き換えると

- 貯金額(積立金) … 5万2,981円
  - 借金(市債) … 17万5,745円
  - 使った金額 … 32万1,170円
- ※内訳は下表のとおり

民生費	11万6,531円
福祉や子育て支援など	
教育費	4万8,835円
学校教育や社会教育など	
衛生費	4万 394円
健康づくりやごみ処理など	
総務費	3万4,552円
一般事務や税の徴収など	
土木費	2万9,442円
道路整備やまちづくりなど	
公債費	1万9,413円
市の借金を返す費用	
消防費	1万 897円
消防や救急活動など	
農林水産業費	1万 292円
農林水産業の振興など	
商工費	8,261円
商工業や観光の振興など	
議会費・労働費	2,554円
市議会の運営など	

※ 2年3月31日現在の人口17万2,114人で計算

## 健全化判断比率・資金不足比率

財政状況や経営状態を表す健全化判断比率、公営企業会計資金不足比率では、全ての指標が健全化への取り組みが必要な基準(早期健全化基準、経営健全化基準)を下回っているため、本市の**財政状況は健全だ**といえます。

- ・実質赤字比率…一般会計などの赤字額の割合を示す指標
- ・連結実質赤字比率…全ての会計の赤字額の割合を示す指標
- ・実質公債費比率…一般会計などが負担する借入金の返済額などの割合を示す指標
- ・将来負担比率…一般会計などが将来負担すべき借入金などの残高の割合を示す指標
- ・資金不足比率…公営企業会計の資金不足額(赤字額)の割合を示す指標

### 健全化判断比率(4指標)

指標名	比率	市の早期健全化基準
実質赤字比率	-	11.55%
連結実質赤字比率	-	16.55%
実質公債費比率	2.0%	25.0%
将来負担比率	-	350.0%

### 公営企業会計資金不足比率

指標名	比率	経営健全化基準
公共下水道事業	-	20.0%
農業集落排水事業	-	20.0%
病院事業	-	20.0%
水道事業	-	20.0%
渡船事業	-	20.0%

※実質的な赤字額や将来負担額、資金不足額はないため、「-」で表示